

子ども医療費の窓口負担を促す通知撤回を



【写真 厚労省・こども家庭庁要請で冒頭あいさつする 住江憲勇 中央社保協代表理事】

10月7日、子ども医療全国ネットワークは、厚生労働省・こども家庭庁に対して、「令和7年度保険者努力支援制度における、子ども医療費の窓口負担復活等、制度改悪を促す評価指標の撤回」を求めて要請行動を行いました。（要請書 別紙）

新婦人は会員431名の声、全日本民医連は医療現場の声を紹介、大阪社保協の寺内さんはシングルマザーの暮らしの実態と切実な声を紹介しました。澤田さん（愛知社保協）、段さん（埼玉社保協）もオンラインで参加。厚労省の担当者は今回の通知は持続可能な制度づくりに必要と回答しつつ「今日寄せられた声は参考にしていきたい」と述べました。

総選挙「国による子ども医療費無料制度の創設」を求めて声をあげよう

子ども医療全国ネットワークが2023年に行った政党アンケートでは、多くの野党が「国制度創設」で一致。総選挙で実現を求めましょう。

子ども医療全国ネット・2023 統一地方選挙アンケート結果								
○=賛成、×=反対、△=その他	自民	公明	立憲	維新	国民	共産	れいわ	社民
国の子ども医療費無料制度	△		○		○	○	○	○
無料化対象年齢	△	回答なし	△	回答なし	高校生まで	高校生まで	高校生まで	高校生まで
現物給付した自治体へのペナルティー廃止	△		○		△	○	○	○

子ども医療全国ネットの街頭宣伝 10月16日(水)16時～新宿南口